

## IDT Ver 1.1.1 ReadMe

お使いのカラーグレーディングソフトにおけるCanon IDTの対応に関しては、各メーカーにお問い合わせください。

### ■EOS C500 / EOS C500 PL用IDT(.ctlファイル)について

EOS C500 / EOS C500 PL用IDT(.ctlファイル)にはタイプAとタイプBがあり、出力端子やファイルの種類によって使い分ける必要があります。

タイプAは、3G-SDIの2系統、モニター端子の2系統、RMFファイルに適用することができます(今回ご提供するIDTファイルは、タイプAのみとなります)。

タイプBは、MXFファイルとHDMI/HD-SDI出力に対して適用することができます。

さらに、各IDT(.ctlファイル)は、撮影時の光源の色温度によって使い分ける必要もあります。

「D55」は、タングステンを除く一般的な光源の元で撮影された画像に対して適用する必要があります。

「タングステン」は、タングステンのような低い色温度で撮影された画像に対して適用する必要があります。

なお、全てのIDT(.ctlファイル)はISOの設定による変更の必要はありません。

No	ファイル名	色域	タイプ	光源
1	Canon_EOS_C500_IDT_CinemaGamut(A)_D55_Ver.1.1.1.ctl	Cinema Gamut	A	D55
2	Canon_EOS_C500_IDT_CinemaGamut(A)_Tng_Ver.1.1.1.ctl		A	タングステン
3	Canon_EOS_C500_IDT_DCI-P3+(A)_D55_Ver.1.1.1.ctl	DCI- P3+	A	D55
4	Canon_EOS_C500_IDT_DCI-P3+(A)_Tng_Ver.1.1.1.ctl		A	タングステン

## ■テスト画像(TEST\_SOURCE.DPXファイル)の利用について

これらの画像は自社システムへのCanon IDTの組み込みをご検討いただくベンダー様向けに、処理結果のリファレンスデータとして提供するものであり、実際の撮影画像ではありません。

処理の精度についてはご利用のシステムに依存するため、テスト画像との一致を保証するものではありません。

ファイル名	ファイルの説明
TEST_SOURCE.DPX	リファレンス入力データ
TEST_OUTPUT_C500_CinemaGamut(A)_D55_Ver.1.1.1.EXR	上記No.1のIDTによる処理結果
TEST_OUTPUT_C500_CinemaGamut(A)_Tng_Ver.1.1.1.EXR	上記No.2のIDTによる処理結果
TEST_OUTPUT_C500_DCI-P3+(A)_D55_Ver.1.1.1.EXR	上記No.3のIDTによる処理結果
TEST_OUTPUT_C500_DCI-P3+(A)_Tng_Ver.1.1.1.EXR	上記No.4のIDTによる処理結果